

# まちがと

## 繋がれた命のリレー

救命活動の2人に感謝状を贈呈

12/16

平成26年11月、町内ゴルフ場内のレストランで、突然倒れた男性に対して心臓マッサージと電気ショックを与えるAED（自動体外式除細動器）を使用し救命活動を行ない、命を救った2人（愛知県碧南市在住の長崎良成さん、刈谷市在住の酒井政徳さん）に消防長から感謝状を贈呈しました。

発見者の方が適切な観察・手当てを行ない、救急隊へ引き継ぎ、岡崎市民病院から出場してきたドクターカーへ引き継ぎ救命へとつながりました。

幸田町消防本部においても、救命講習に力をいれていきます。



▲救命活動を行った長崎さん（左）と酒井さん（右）

## 次は全国制覇だ！

第1回公式ドッジボール全日本女子総合選手権4位入賞報告

1/16

平成26年12月20日・21日の2日間にわたり行われた、第1回公式ドッジボール全日本女子総合選手権に幸田町から山本 碧さん、田畑 琳香さん、鳥居 佑羽さんの3人が愛知県



▲全国大会で4位に入賞した田畑さん（左）、山本さん（中央）、鳥居さん（右）

代表チームのメンバーとして出場しました。東京都渋谷区にある国立オリンピック記念青少年総合センターには、全国からドッジボールに情熱を燃やす中学生から社会人までで構成される猛者が集結し、技術・戦略共にレベルの高い熱い試合が繰り広げられました。山本さんは「決勝トーナメントで敗退し全国4位（敢闘賞）の結果に終わりましたが、これからも全国制覇を目標に活動していきます。」とドッジボールへの熱い想いを語ってくれました。

## 書き初めに思いを込めて

幸田小学校 書き初め大会

1/8

幸田小学校で全学年一斉に書き初め大会が行われました。学年ごとに決められた文字のお手本を見て、一心に筆をはしらせていました。いつもは活発に意見が飛び交う教室内は「シーン」と静まりかえり、いい緊張感の中で自分の手の動きに集中している姿が見られました。



▲静まり返った教室



▲集中！

身近な情報を広報へ

## お茶を少々

わしだ保育園 新年お茶会

1/9

新年を迎えた季節の行事として、わしだ保育園でお茶会が開かれました。会場の遊戯室には赤いカーペットを敷き、掛け軸や鉄の茶釜も用意されて雰囲気はすっかりお茶室。参加した年長児たちも少し緊張した様子で静かにお茶とお菓子を楽しました。おいしいお茶とお菓子をいただいて、表情はにっこり笑顔(^^)



▲おいしいね♪



▲お茶のお作法を学びました

## 今年一年の無火災・無災害を祈念して

消防出初め式

1/10

消防本部、消防団、女性消防クラブ、自主防災会、株式会社デンソー幸田・西尾両製作所など、約400人が参加をし、防災広場で消防出初め式が行なわれました。出初め式では消防職員による消防訓練の披露や、各団体が協力しての一斉放水、分列行進などが行われました。また、会場では、豚汁の配付や子どもへのお菓子のプレゼントなども行われました。訓練参加者は、各訓練に真剣に取り組むとともに、防火への決意をあらたにしていました。



▲消防団長を先頭に分列行進



▲女性消防クラブによる豚汁配付

## 新年を祝い、芸の初めに

幸田文化協会 新年事始め

1/11

1月11日に町民会館あじさいホールで幸田文化協会の新年事始め会があり、新年祝賀式や芸能発表が行われました。芸能発表では、三河万歳を始め、民謡や詩舞が披露されました。また恒例の福引も行われ、参加した人たちは、新年最初の運だめしを楽しんでいました。



▲芸能発表の様子



▲お楽しみの福引も

フォトニュース

E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

FAX(63)5139

広報直通ダイヤル(63)5132

## 全国で最優秀賞に輝く

第64回社会を明るくする運動作文コンテスト最優秀賞受賞報告

1/16

第64回社会を明るくする運動作文コンテストにおいて、北部中学校3年生の上村彩奈かみむらあやなさんが最優秀賞（法務大臣賞）を受賞され、その報告に訪れました。社会を明るくする運動とは、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちが非行をした少年たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築くことを目的としたものです。上村さんは家族が交通事故の被害者となった体験を持ち、「許せない」という気持ちを抱えながらも、地域社会が更生しようとする人を受け入れることの必要性を文章で表現しました。



▲最優秀賞に輝いた上村さん

## 記憶を新たに、歴史に学ぶ

三河地震勉強会

1/17

1月17日に消防署講堂で三河地震の勉強会が開催されました。発生から70年を迎え、新聞などでも多く特集で取り上げられてる三河地震。勉強会では名古屋大学減災連携研究センター教授の武藤雅之たけむらまさゆき教授が司会を務められ、同センターなかいほるかの中井春香なかいはるか研究員と東北震災復興ボランティアとして都築数明つづきかずあきさん、町防災安全課のおがわ小川主任主査が講演を行いました。



▲司会の武藤教授



▲失われた尊い命に黙とうを捧げました

## ものづくりの最前線

第6回幸田プレステージレクチャーズ

1/21

町民会館つばきホールにて、第6回幸田プレステージレクチャーズ 一ものづくり日本講演会一が開催されました。今回は浜松ホトニクス(株)常務取締役、中央研究所長の原勉はらつとむ氏を講師として招き、「光技術による未知未踏への挑戦」と題して、最新の研究開発とその考え方などについて講演をいただきました。町内外から多くの方が受講され、講師の話に熱心に耳を傾けていました。



▲講師の原勉氏



▲会場は多くの受講者で賑わいました

まちがと

身近な情報を広報へ

## 交流を通して触れ合う気持ち

大草保育園 お年寄りとのふれあい会

1/23

大草保育園で地元の老人クラブの人たちを招いて、年長児との交流会が開かれました。この日は、季節行事として、花餅づくりを一緒に楽しみました。いくつかのテーブルに分かれて、お年寄りと一緒に4色のおもちを丸めて団子を作り、用意された枝に飾り付けを行いました。花餅づくりの合間には園児がけん玉やコマ回し、あやとりなどを披露すると、お年寄りからもお手玉やあやとりの技が披露されました。昔の遊びを思い出し、思わず笑顔になる姿も。



▲おばあちゃんと一緒に飾り付け



▲みんなで花餅を丸めたよ

## 2,000人が駆け抜ける！ 新春駅伝・ファミリージョギング大会

1/25

第37回新春駅伝・ファミリージョギング大会が、幸田中央公園を発着点に行われました。今回はジョギングの部(2.0\*<sub>0</sub>)735人、駅伝の部(9.2\*<sub>0</sub>)219チーム(1チーム6人)1,314人の参加があり、それぞれが完走、優勝を目指しました。駅伝の部、各部門の結果は次のとおりです。(優勝チームのみ)【一般の部】幸田高校陸上競技部A 【中学生男子の部】幸田中学校野球部A 【中学生女子の部】幸中ソフト部A 【小学生男子の部】チーム中央6年男子A 【小学生女子の部】幸小6A 【総合優勝】幸田中学校野球部A



広報直通ダイヤル(63)5132  
FAX(63)5139  
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

フォトニュース